

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.226 (令和6年3月)

日増しに暖くなり、早春の息吹を感じるこの頃、リバーキーパーズの皆さまはいかがお過ごしでしょう。桜、梅や桃などの花が開花するとともに、春の訪れを感じる人も少なくないのではないのでしょうか。品種によって異なる場合がありますが、この三つの花は、梅→桃→桜で開花します。今年は新型コロナウイルス感染症が5類に下げられ初の開花です。お花見に行かれる人も多いのではないのでしょうか。今まで楽しめなかった分、今年の春を楽しみましょう。

今月号は、「表彰状授与」と「ホテルの幼虫放流」についてお知らせいたします。

○表彰状授与～河川愛護月間「絵手紙」～

2月29日（木）に河川愛護月間「絵手紙」で国土交通事務次官賞を受賞された新田蓮君に、香川河川国道事務所から表彰状を授与しました。今回の受賞により、新田君は3年連続の入賞となりました。

国土交通省では、河川愛護月間における広報活動の一環として、未就学児から一般の方々までを対象に絵手紙作品を毎年募集しています。令和5年度も全国からたくさんの作品（962点）が寄せられました。有識者等で構成する選定審査会によってこれらの作品の選考が行われ、最優秀賞（国土交通大臣賞）をはじめ20点の入選作品を決定しました。



表彰状授与の様子



記念撮影の様子

○ホタルの幼虫放流～きれいな川を守るために～

2月28(水)、土器川生物公園内のホタル水路で、ひつじヶ丘幼稚園の園児(18名)によってゲンジボタルの幼虫と餌となるカワニナが放流されました。

この幼虫放流会は、土器川ホタル実行委員会(香川河川国道事務所、丸亀市で構成)が地域の方々とともに土器川がホタルの乱舞する美しい川になるため、平成8年から実施しています。

幼虫の放流前には、ホタルの生態について学習し、土器川を汚さずに、きれいにすることの大事さも学んでいただきました。

土器川生物公園では毎年5月末から6月初旬に「ホタルまつり」を開催しています。今回放流した幼虫が成虫になり、光り輝きながら、夜空を飛び交っているところを、ぜひ見に来てください。



ホタルの生態について学習する様子

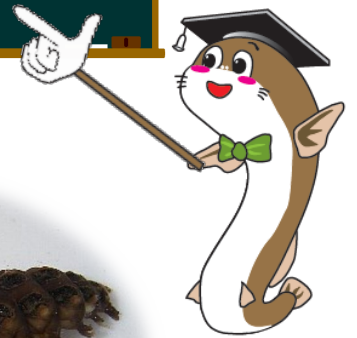


幼虫放流の様子



ホタルの一生

土器川生物公園に生息するゲンジボタルは、5月中旬から6月のはじめにかけてみる
ことができるよ。



ゲンジボタルの幼虫

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

